



 内閣府青年国際交流事業

募集期間  
2019年  
2月～  
3月下旬

# 2019年度 日本代表青年募集

東京&大阪  
で2次試験  
を開催!

内閣府は、6つの国際交流事業に日本代表として参加する青年を募集します。

東南アジア  
青年の船

世界  
青年の船

国際社会  
青年育成

日中青年  
親善交流

日韓青年  
親善交流

地域コア  
リーダー  
プログラム

各事業の詳細については、内閣府青年国際交流担当室のホームページをご覧ください  
(2019年度の事業概要、応募要領は2019年1月下旬頃に掲載予定です)。

青年国際交流

検索



# 2019年度 内閣府青年国際交流事業 募集概要

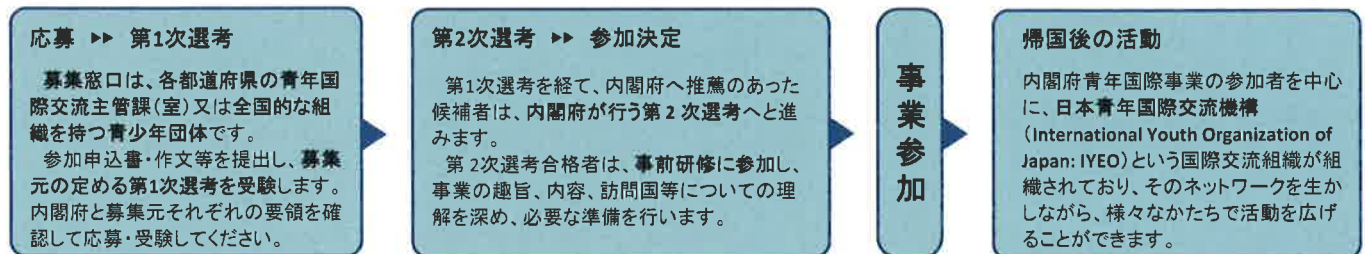
※応募の際は、内閣府ホームページに掲載している「事業概要」及び「応募要領」で、必ず詳細を確認してください。

青：船事業 緑：航空機事業 紫：社会人向け事業	「東南アジア青年の船」事業	「世界青年の船」事業	国際社会青年育成事業	日本・中国青年親善交流事業	日本・韓国青年親善交流事業	地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」
交流国(予定)	ASEAN全10か国 うち以下4か国を訪問 マレーシア ミャンマー シンガポール ベトナム	イギリス、ブラジル、フランス、メキシコ、ニュージーランド、スリランカ、ペルー、バーレーン、エジプト、ケニア うちメキシコ等を訪問	I 欧州・アフリカ・オーストラリア・リトアニア II 北米・中南米・チリ・メキシコ III アジア・大洋州・フィリピン・ベトナム ※訪問はI～IIIのうち1地域(2か国)	中国	韓国	I 高齢者分野 オランダ II 障害者分野 イタリア III 青少年分野 フィンランド ※訪問はI～IIIのうち1か国
研修日程	事前 8月4日～9日 出発前/出航前 10月21日～24日 本体プログラム 日本国内活動 10月25日～11月1日(8日間) 船内・訪問国活動 11月2日～12月12日(41日間) 帰国後 12月13日～14日	9月20日～25日 2020年1月11日～12日 陸上研修(3日間) 2020年1月12日～14日 船上研修(34日間) 2020年1月15日～2月17日 陸上研修(3日間) 2020年2月18日～20日	7月2日～6日 9月16日～17日 9月18日～10月5日(18日間)	7月2日～6日 10月27日～28日	7月2日～6日 9月16日～17日 10月29日～11月9日(12日間)	7月2日～6日 9月16日～17日 9月18日～10月2日(15日間)
募集人員	39人	120人	各地域12人(合計36人)	25人	25人	各国8人(合計24人)
資格要件等	国籍 日本国籍を有すること 年齢(2019年4月1日時点) 18歳～30歳(1988年4月2日～2001年4月1日生まれ) 語学力・経験 交流活動を円滑に行える英語力があること その他 訪問国の公用語による簡単な日常会話能力があれば望ましい(語学力がなくても選考で不利になることはない) ・地域、職域、学校又は青少年団体等において、帰国後も事業参加の経験をいかして社会貢献活動を行うことが期待できる人*1 ・各種研修を含む、事業の全日程に参加できる人 ・過去に内閣府の行う青年国際交流事業に参加したことのある人は応募できません(地域コアリーダープログラムを除く)					
参加費*2	30万円程度	30万円程度*3	14万円～18万円程度(訪問地域により異なる)	10万円程度	7万円程度	16万円程度
応募窓口	住民票が所在する都道府県の青年国際交流主管課(室)又は全国的組織を持つ青少年団体					
募集期間	おおむね2月～3月中、応募先の都道府県・団体によって異なります《⇒内閣府HP及び各都道府県HPを参照》					
提出書類	①参加申込書 ②作文 ③健康診断書(地域コアリーダープログラムに限り④所属元の推薦書)《⇒様式は内閣府HPからダウンロード》					
選考試験日	【第1次選考】3～4月で応募先の都道府県・団体が定める日《⇒内閣府HP及び各都道府県HPを参照》 【第2次選考】5～6月で内閣府が定める日《⇒内閣府HPを参照》※今年度は全事業で内閣府(東京)に加えて大阪で実施予定					

- \*1 内閣府青年国際交流事業の参加者を中心に組織されている「日本青年国際交流機構」では、会員たちがそのネットワークをいかにしながら様々な社会貢献活動を行っています。詳細はホームページ(<http://www.iyeo.or.jp/ja/>)をご覧ください。
- \*2 上記参加費のほか、選考試験及び事前研修参加時の旅費、予防接種料などは、別途参加青年本人の負担となります。
- \*3 「世界青年の船」事業のみ、経済的理由により参加費の納付が困難な場合に参加費の免除を申請することができます(人数に上限あり)。
- ※ 以上の内容は平成31年度政府予算案に基づく2019年1月時点の予定です。訪問国、日程等については今後変更になることがありますので、最新の情報は内閣府ホームページにてご確認ください。

## ■事業参加の流れ (応募～選考～事業参加～事業参加後まで)

★事業実施期間の前後に参加必須の研修があります。



## ■問合せ先 (各事業の内容や第2次選考試験に関する問合せは内閣府までお寄せください)

内閣府青年国際交流担当室  
〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1 中央合同庁舎8号館8階  
Tel: 03-6257-1434 (月～金 9:30～18:15)

青年国際交流

検索



# 一步踏み出せば、人生

内閣府では、国際社会や地域社会で活躍する次世代グローバルリ



## 世界青年の船

1967年度開始の「明治百年事業」にルーツがある事業です。毎年異なる世界10か国から集まった外国青年と船内等で共同生活をしながら、ディスカッションや文化交流を行います。プロジェクトマネジメントや異文化対応を、理論・実践の両面で強化することに重点をおいた事業です。(約30日間)

## 日

1984年の趣旨を両政府のステイの各種が日韓関係で考え、の発展します。まとの合宿

## 日本・中国青年親善交流

1978年の日中平和友好条約の締結を記念し、1979年から開始された日中両国政府による共同事業です。文化紹介やホームステイを通じた交流とともに、ビジネス環境・就職・ボランティアの状況などについて、両国の共通点や相違点などを掘り下げて考える機会ともなる大学生との意見交換、グローバルに飛躍をとげる中国の先進企業訪問、起業をめぐるビジネス制度等に関連する施設の訪問等を行う多彩なプログラムです。(12日間)



## 東南アジア青年の船

1974年に開始したわが国とASEAN諸国との共同事業です。ASEAN10か国の青年と船内等で共同生活をしながら、ディスカッションや文化交流を行います。東南アジア各国から選びぬかれた青年とのネットワークを構築するとともに、アジア地域の未来を担う人材の育成を図ります。(約40日間)

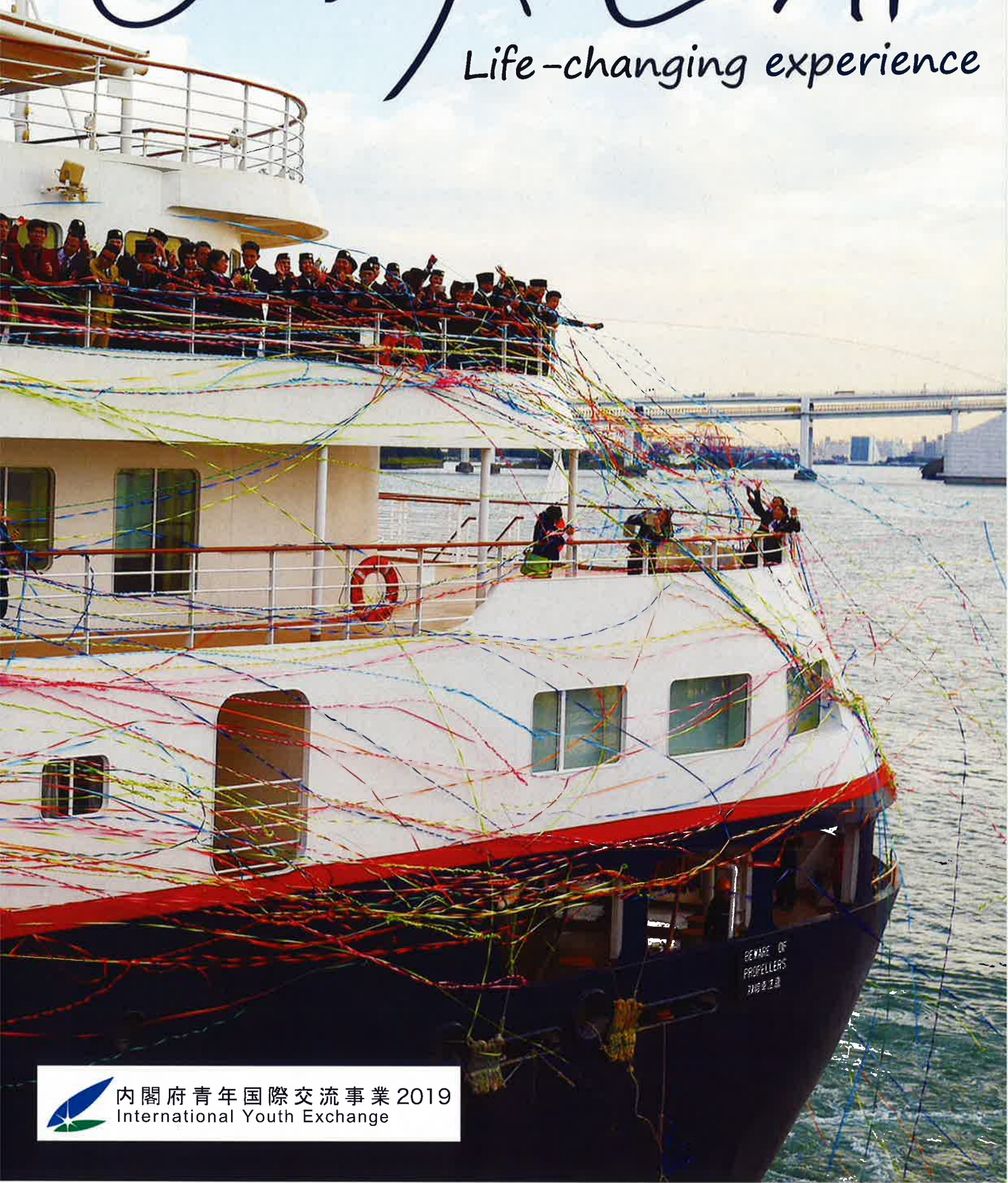


## 「地

高齢社会同じ機関を通課題

# Engage World

Life-changing experience



内閣府青年国際交流事業 2019  
International Youth Exchange